

- 問1 アフリカ大陸の北部に広がるサハラ砂漠の南縁に沿って、東西に帯状に伸びる半乾燥地域では、近年、土地の荒廃が進み植生が失われる現象が深刻化しています。この地域の名称を何とといいますか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. サバンナ                      2. ステップ                      3. サヘル                      4. セルバ
- 問2 アフリカ州の国々に見られる、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造を何とといいますか。この経済構造は、天候不順や国際価格の変動の影響を受けやすいという特徴があります。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. バイオテクノロジー                      2. モノカルチャー経済                      3. フェアトレード                      4. ブランテーション農業
- 問3 アフリカの多くの国で見られる「モノカルチャー経済」の状況を正しく把握するために、統計資料から読み取るべき情報として最も適切なものはどれですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. その国が製品を輸入している主な相手国と、相手国ごとの輸入額の推移                      2. その国の国内における農産物出額の合計と、国内で消費される作物の内訳                      3. その国の輸出総額において、特定の農作物や鉱産資源などの品目が占める割合                      4. その国の総人口の推移と、都市部に居住する人口が全体に占める割合
- 問4 アフリカのナイジェリアでは、輸出額の8割以上を原油が占めています。このように、特定の農産物や鉱産資源の輸出に国家経済が大きく依存している経済構造を何とといいますか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
1. 加工貿易                      2. 地産地消                      3. 自由貿易                      4. モノカルチャー経済
- 問5 ウガンダにおける2004年から2018年の米の生産状況について、収穫面積は約9万ヘクタール前後でほぼ横ばいである一方、生産量は約12.1万トンから約24.6万トンへと約2倍に増加しています。このデータから読み取れる、ウガンダの農業における変化として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 米から他の作物への転換が進み、収穫面積が減少した                      2. 気候変動の影響で、収穫面積あたりの収穫量が減少した                      3. 土地あたりの生産性が向上した                      4. 収穫面積の大幅な拡大により増産に成功した
- 問6 アフリカ諸国に多く見られる「モノカルチャー経済」の特色と課題について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 原材料を輸入して高度な工業製品を製造・輸出する構造であり、国際価格の影響を受けにくい安定した経済である。                      2. 輸出の大部分を機械類や自動車などの工業製品が占めており、国内総生産（GDP）は欧米諸国と同水準にある。                      3. 特定の資源や農産物の輸出が中心となっており、その品目の国際価格が下落すると国全体の経済に大きな打撃を与える。                      4. 複数の農産物や工業製品をバランスよく輸出することでリスクを分散しており、世界不況の影響を受けにくい構造である。
- 問7 特定の農産物や鉱産資源など、ごく少数の一次産品の輸出に国の経済が過度に依存している経済構造を何とといいますか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 知識集約型社会                      2. 自由貿易                      3. 加工貿易                      4. モノカルチャー経済
- 問8 アフリカ諸国の産業と資源に関する記述として、ボツワナの状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. 金や白金の生産が世界一であり、アフリカ最大の工業国として経済発展を遂げている。                      2. 銅の生産が盛んであり、輸出ルートが「銅の道」と呼ばれる地域を形成している。                      3. 原油の輸出額が国家収入の大部分を占めており、石油輸出国機構（OPEC）の主要メンバーである。                      4. ダイヤモンドの生産量がロシアに次いで世界有数であり、鉱業が国の経済を支えている。
- 問9 ナイジェリアの輸出総額のうち、第1位の原油が約82.3%、第2位の液化天然ガスが約9.9%を占めているように、特定の農産物や鉱産資源の輸出に過度に依存する経済構造を「モノカルチャー経済」と呼びます。このような経済体制が抱える課題として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 特定の製品の国際価格が下落すると、国家の財政が不安定になりやすいこと                      2. 国内の食料自給率が高まり、工業製品の輸入が必要なくなること                      3. 資源の枯渇を防ぐために、政府が輸出量を厳しく制限しなければならないこと                      4. 先進国からの経済援助を受けるための条件が厳しくなること
- 問10 アフリカ州の産業において、特定の農作物や鉱産資源の輸出に頼りすぎる「モノカルチャー経済」が課題となっている。この経済構造の要因の一つである、熱帯地域での大規模栽培に関する記述として、その仕組みとリスクを正しく説明しているものはどれか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
1. ブランテーションでは特定の輸出用商品作物を専門に栽培するため、国際価格の変動が国の経済に大きな影響を及ぼしやすい。                      2. 灌漑農業によって砂漠化を防止しながら栽培を行うため、環境保護と経済発展を両立させる仕組みとして機能している。                      3. 焼畑農業によって土地を移動しながら栽培を行うため、特定の作物の国際価格が下落しても別の土地で新しい作物を育てて対応できる。                      4. ブランテーションでは主食となる穀物を多種類栽培するため、天候不順による食料不足のリスクを分散することができる。
- 問11 21世紀半ばにかけての世界の人口推移を予測した統計において、2010年から2050年にかけての人口増加の割合が最も大きくなると予測されている地域はどこか、名称を答えなさい。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. アフリカ                      2. ヨーロッパ                      3. 南アメリカ                      4. 北アメリカ
- 問12 赤道付近に位置し、標高が1000メートルを超えるアフリカ東部の高地で見られる、気候や生活の様子について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 緯度が低いため、一年を通じて30度を超える猛暑が続く、雨季と乾季をはっきりと分かれる。                      2. 南半球からの冷たい季節風の影響を直接受けるため、冬には氷点下まで気温が下がる。                      3. 海拔が低く平坦な土地が続いているため、地表の熱が逃げにくく、夜間也非常に気温が高い。                      4. 赤道直下のため、季節による気温の変化は小さいが、標高の影響で年間を通じて涼しい。
- 問13 コートジボワールにおけるカカオ豆や、ナイジェリアにおける原油のように、特定の一次産品の輸出に頼る「モノカルチャー経済」が抱える課題として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 工業化が進みすぎること、伝統的な農業が衰退し食料自給率が低下する。                      2. 原材料を輸入して製品を輸出するため、輸入価格の高騰が製品価格に影響する。                      3. 国際価格の暴落や天候による不作が、国家財政に大きな打撃を与える。                      4. 特定の国とだけ貿易を行うため、外交関係の悪化によって輸出が完全に止まる。